



国際交流イニシアティブ事業 活動報告

この事業は競輪の補助を受けて実施しました。

工作機械産業に携わる、優秀な技術者を確保・育成していくため、国内のものづくりに関わる若手技術者・研究者を対象に、平成29年度（公財）JKA・機械振興補助事業として、「国際交流イニシアティブ事業」を実施した。同補助事業の完了に伴い、次の通り報告する。

1. 日程

2017年9月17日（日）～

2017年9月25日（月）

2. 訪問先

<Aコース>

レニショー社（イギリス・ニューミルズ）・

アーヘン工科大学（ドイツ・アーヘン）

EMOショー（ハノーバー）

<Bコース>

ハイデンハイン社（ドイツ・トラウンロイ
ト）・スイス連邦工科大学（スイス・チュー
リッヒ）

EMOショー（ハノーバー）

3. 交流内容

- ・参加者によるプレゼンテーションを通じた技術交流
- ・訪問先の工場・研究室の見学
- ・EMOショーの見学

4. 参加者

【Aコース視察団】（順不同、敬称略）

古本 達明 金沢大学 教授

吉岡 勇人 東京工業大学 准教授

DMG森精機(株) ファナック(株)

(株)牧野フライス製作所 (株)松浦機械製作所

中村留精密工業(株) (株)ニイガタマシントクノ

オークマ(株)

【Bコース視察団】（順不同、敬称略）

石田 徹 徳島大学 教授

金子 順一 埼玉大学 准教授

キタムラ機械(株) 三菱電機(株)

日本精工(株) 東芝機械(株)

ヤマザキマザック(株) 日工会事務局

他国の製造業に関する考え方に触れ、同じ課題に対するアプローチの違い等を認識して新鮮な経験を得ることが出来た。このような、国際交流の貴重な経験が若手人材を大きく成長させることに加え、異なる組織に所属する参加者が人的交流の継続を通じて相互に啓発することで、将来の工作機械分野の発展に大きく寄与することが期待される。



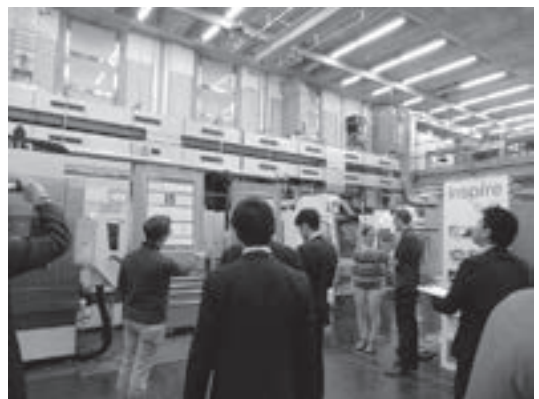
レニショー社（イギリス）視察



アーヘン工科大学（ドイツ）にて



ハイデンハイン社（ドイツ）での技術交流会



スイス連邦工科大学の視察



ランチ交流の様子



両視察団メンバー